

《履修モデル》

講座	2.人間・社会・思想講座		
学系	人間科学系		
関係・分野	人間形成論		
教員	教授：倉石 一郎（教育社会学） 教授：石岡 学（教育史）	教授：大倉 得史（発達心理学・ 関係発達論）	准教授：松本 卓也（精神病理学・ 精神分析学） 准教授：タジャン, ニコラ（精神病 理学・精神分析学）
1・2回生	<全学共通科目> 教育学Ⅰ・Ⅱ 教育学基礎ゼミナール ジェンダー論基礎ゼミナール <学部科目> 基礎演習：教育・社会・国家 基礎演習：ジェンダー論	<全学共通科目> 心理学Ⅰ・Ⅱ 関係発達論Ⅱ 発達心理学基礎ゼミナール <学部科目> 心理学概論 心理学研究法 関係発達論Ⅰ（発達心理学） 基礎演習：発達心理学 心理学実験*1	<全学共通科目> 精神病理学Ⅰ 精神分析学 行動病理学Ⅰ・Ⅱ 精神病理学・精神分析学講読演習*2 Psychopathology I-E2 Psychoanalysis-E2 <学部科目> 基礎演習：現代思想と精神分析 基礎演習：Frontiers in psychopathology（精神病理学のフ ロンティア） 精神病理学Ⅱ（精神疾患とその治 療）
	*1 この科目は2回生から履修できます。 *2 この科目は他の精神病理学・精神分析学関連の科目の既履修または並行履修が条件となります。		
3回生	<学部科目> 人間形成論演習A・B（重複履修 可） 人間形成史論演習A・B（重複履 修可） 人間形成論*3 人間形成史論	<学部科目> 関係発達論の応用*4 関係発達論演習A・B（重複履修 可） 心理演習	<学部科目> 精神病理学・精神分析学演習A・B （重複履修可） 精神病理学・精神分析学（障害者・ 障害児心理学） 学部特殊講義ⅠB（総合人間学とし ての精神分析）*3 精神分析Ⅰ・Ⅱ*5 Psychoanalysis II-E2*5 心理的アセスメント
	*3 この科目は2回生から履修できます。 *4 この科目は2回生から履修できますが、他の関係発達論関連の科目の既履修または並行履修が条件とな ります。 *5 この科目は1回生から履修できます。		
4回生	<学部科目> 人間形成論演習A・B（重複履修 可） 人間形成史論演習A・B（重複履 修可）	<学部科目> 関係発達論演習A・B（重複履修 可） 心理演習	<学部科目> 精神病理学・精神分析学演習A・B （重複履修可） 精神病理学・精神分析学（障害者・ 障害児心理学）
★他学部科目に関してはR5年度以前入学者は16単位、R6年度以降入学者は22単位まで主専攻科目として認定され ますので、教育学部や文学部の便覧を 閲覧の上、履修してください。 ★卒論のテーマや読むべき文献、研究方法などに関して、教育社会学……倉石一郎、教育史……石岡学、発達心理 学・関係発達論……大倉得史、精神病理学・精神分析学……松本卓也が、それぞれ個別に相談に応じます。 ★発達心理学・関係発達論関連の科目、精神病理学・精神分析学関連の科目の中には、公認心理師受験資格取得のた めに必要となる科目があります。公認心理師資格取得を目指す学生は、各種の案内等に注意して情報を収集してくだ さい。			

《履修モデル》

講座	2.人間・社会・思想講座	
学系	人間科学系	
関係・分野	社会行動論	
教員	教授：吉田 純（社会学） 教授：柴田 悠（社会学）	教授：永田 素彦 （社会心理学、グループ・ダイナミックス）
1回生	<全学共通科目> 社会学Ⅰ・Ⅱ／社会学各論Ⅰ・Ⅱ／社会学基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ <学部科目> 基礎演習：社会学Ⅰ・Ⅱ	<全学共通科目> 心理学Ⅰ・Ⅱ／社会心理学基礎ゼミナール <学部科目> 社会心理学（社会・集団・家族心理学） グループ・ダイナミックス（産業・組織心理学）／心理学概論／心理学研究法／基礎演習：社会心理学
	<全学共通科目>宗教学各論（死生学）Ⅰ・Ⅱ 上記のほか、人間科学の様々な分野を幅広く学んでください。	
2回生	<全学共通科目・学部科目> 上記1回生時の推奨科目すべて <学部科目> 社会調査のための統計学	<全学共通科目・学部科目> 上記1回生時の推奨科目すべて <学部科目> 心理学実験
	<全学共通科目>神話論Ⅰ・Ⅱ 上記のほか、1回生時にひきつづき、人間科学の様々な分野を幅広く学んでください。 文学部・教育学部の社会学・心理学関係科目（2回生配当）も履修を推奨します。	
3回生	<学部科目> 人間行動論 社会情報論 人間行動論演習A・B 社会情報論演習A・B	<学部科目> 社会心理学演習A・B 心理学実験
	卒業論文の方向性を意識しつつ、社会行動論関係のより専門的な研究に取り組んでください。とくに、人間行動論演習A・B／社会情報論演習A・B／社会心理学演習A・Bのうち、少なくとも1つを通年で履修することを強く推奨します（これらの演習の担当教員の中から、指導教員を選んでください）。 文学部・教育学部の社会学・心理学関係科目（3回生配当）も履修を推奨します。	
4回生	<学部科目> 人間行動論演習A・B 社会情報論演習A・B ※3回生時に人間行動論演習A・Bを履修した学生は、4回生時には社会情報論演習A・Bを履修してください（またはその逆）	<学部科目> 卒論・大学院ゼミ （社会心理学演習A・B）
	3回生時からひきつづき、指導教員が担当する演習科目を履修しながら、卒業論文の作成に取り組んでください。	

社会行動論関係（社会学、社会心理学、グループ・ダイナミックス）は、人間社会のあらゆる事象にかかわりを持つ、非常に守備範囲の広い学問分野です。最初の1～2回生時は、あまり狭い専門性にとらわれず、人間科学や社会科学の幅広い分野を学びながら、「自分にとって何が本当に重要な問題なのか」を探すようにしてください。 なお、3回生時の指導教員決定にあたっては、1～2回生時の履修科目や成績によって可否を判定する場合があります。詳しくは、各教員の「教員プロフィール」を参照してください。 3回生は、1～2回生時の蓄積をもとに、自分の問題関心を明確化し、卒業論文の方向性を定める重要な時期です。7月までに指導教員を決め、その教員が担当する演習科目で発表したり討論に参加しながら、問題関心を追求してください。 4回生では、3回生時からひきつづき、指導教員が担当する演習科目で卒業論文の計画を発表し、討論に参加し、また先輩の院生からのアドバイスなども参考にしながら、卒業論文を完成させてください。
--

《履修モデル》

講座	2.人間・社会・思想講座
学系	人間科学系
関係・分野	人間存在論
教員	教授：佐藤 義之（フランス哲学・倫理学）、安部 浩（ドイツ哲学・環境倫理）、戸田 剛文（英米哲学・イギリス経験論）、青山 拓央（英米哲学・分析哲学）
1回生	＜全学共通科目＞ 哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、倫理学Ⅰ・Ⅱ、科学論Ⅰ・Ⅱ ＜学部科目＞ 基礎演習：哲学、哲学基礎ゼミナール、基礎演習：西洋思想史、西洋思想史基礎ゼミナール 哲学に限らず、幅広い分野の授業を取っておくのがいいかと思います。ドイツ語またはフランス語のどちらかはしっかりとやっておいてください。 （関係共通の推奨科目）西洋社会思想史、宗教学、ラテン語、ギリシャ語など
2回生	＜学部科目＞ 人間実践論Ⅰ・Ⅱ、自己存在論Ⅰ・Ⅱ、哲学・文化史Ⅰ・Ⅱ、認識人間学Ⅰ・Ⅱ 特に必修科目があるわけではないですが、授業などで出てきた哲学者の原典をなるべく時間を見つけて読むようにしましょう。ドイツ語またはフランス語の学習も引き続き行ってください。 （関係共通の推奨科目）西洋社会思想史、宗教学、ラテン語、ギリシャ語など
3回生	＜学部科目＞ 自己存在論演習Ⅰ・Ⅱ、人間実践論演習Ⅰ・Ⅱ、認識人間学演習Ⅰ・Ⅱ、哲学・文化史演習Ⅰ・Ⅱ 上記の1～3回生の欄に列挙した科目などでまだとっていないものはとっておくのもよいでしょう（習得していない言語を使う授業は除く）。特に必修科目があるわけではないですが、授業などで出てきた哲学者の原典をなるべく時間を見つけて読むようにしましょう。そろそろ卒業論文で扱う哲学者の候補を絞っていきましょう。
4回生	＜学部科目＞ 自己存在論演習Ⅰ・Ⅱ、人間実践論演習Ⅰ・Ⅱ、認識人間学演習Ⅰ・Ⅱ、哲学・文化史演習Ⅰ・Ⅱ 人間存在論特別演習（卒論中間発表） 人間存在論特別演習で卒業論文の中間発表、検討を行います。演習などで関心のある授業は、一年限りでなく繰り返し履修しておくのもいいかもしれません（重複履修可能な科目のみ）。卒業論文で選んだ哲学者の著作と格闘しましょう。
1、2回生のうちに、理系・文系問わず、幅広くいろいろな科目をとってみるのもいいかもしれません。 語学はしっかりとやっておいてください。上述したドイツ語またはフランス語のほかに、古典語（ラテン語またはギリシャ語）も可能なら学習してほしいと思います（古典語は全学共通科目の外国語科目群でなく、人文・社会科目群で開講されています）。 講義で取り上げられた哲学者で興味のある人が出てきたら、なるべく原典を読むようにしましょう。すこしずつ原語で読む訓練をしておくといいかと思います。	

《履修モデル》

講座	2.人間・社会・思想講座
学系	認知情報学系
関係・分野	外国語教育論
教員	教 授：西山 教行
1回生	・全学共通科目：「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」など。 ・専門科目：基礎演習 異文化間教育 教育学、心理学、言語学、社会学、政治学、文化人類学、文学など、人文社会系の教養科目は、学術的な教養を培うためには必要不可欠です。貪欲に学んでください。英語及び初修外国語力の維持、向上にも真剣に取り組みましょう。
2回生	学部科目：言語教育政策論、言語教育政策論演習、人間形成論、人間形成論演習A、B 外国語教育、言語政策、異文化間教育などを学ぶにあたっては、言語教育も教育の一部です。外国語関係の科目だけではなく、教育学などの見識も深めてください。
3回生	学部科目：言語教育政策論、言語教育政策論演習、人間形成史論、人間形成史論演習A、B 外国語教育、言語政策、異文化間教育などを学ぶにあたっては、歴史的な視座も重要です。さまざまな知を総合し多角的な角度からの研究を心がけましょう。
4回生	卒業論文では、言語教育（外国語、日本語など）や言語政策に関連する分野で考察を深めることになります。基本的には、興味関心事項に対する観察・記述・分析・説明を、文献研究、資料解析などで深めることを期待します。何よりも一人一人の問題意識を重視しますが、卒業論文は意見・感想文ではありません。所属教員の授業やゼミをとおして見識を高め、疑問点を基に相談してください。 就職活動などで多忙となります。貴重な時間を有効に活用し、指導教員と連携を進めて、論文の執筆を進めてください。履修漏れがないように注意してください。

《履修モデル》

講座	2.人間・社会・思想講座	
学系	国際文明学系	
関係・分野	社会相関論（文明構造論分野）	
教員	教授：細見 和之（ドイツ思想）	准教授：小林 哲也（ドイツ文学・精神史）
1回生	ヨーロッパの思想・哲学に関する全学共通科目、ILASセミナー など	ヨーロッパの思想・哲学に関する全学共通科目、ILASセミナー など
	学部科目「国際文明学系入門A」を履修すること。外国語については、ドイツ語を履修することが望ましい。	
2回生	文明構造論ⅣA・B	文明構造論ⅣA・ⅣB
	学部専門科目である講義科目、基礎ゼミナールも意識して履修すること。	
3回生	文明構造論演習ⅢA・ⅢB	文明構造論演習ⅢA・ⅢB
	副専攻科目の計画的な履修を行ってください。	
4回生	文明構造論演習ⅢA・ⅢB	文明構造論演習ⅢA・ⅢB
	対象領域の言語であるドイツ語を大切に文献研究を基本としていますが、関心は専門領域に限定されていませんので、みなさんの関心を各教員に率直にぶつけてみてください。 また、文学部などの科目を積極的に履修されることも推奨します。	
対象領域の言語であるドイツ語を大切に文献研究を基本としていますが、関心は専門領域に限定されていませんので、みなさんの関心を各教員に率直にぶつけてみてください。 また、文学部などの科目を積極的に履修されることも推奨します。		